

45 農業農村整備事業 <公共>

[令和3年度予算概算決定額 333,256 (326,436) 百万円]
(令和2年度第3次補正予算額 185,519百万円)

<対策のポイント>

農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の適切な更新・長寿命化、ため池の防災・減災対策や農業用ダムの洪水調節機能強化、集落排水や農道等の生活インフラの整備等を推進します。

<事業目標>

○ 担い手が利用する面積が全農地面積の8割となるよう農地集積を推進 [令和5年度まで]

○ 基盤整備完了区域（水田）における作付面積（主食用米を除く）に占める高収益作物の割合の増加

○ 機能保全計画に基づく適時適切な更新等を通じ、安定的な用水供給と良好な排水条件を確保

○ 農地及び周辺地域の湛水被害等の防止

<事業の内容>

1. 農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備
(農業競争力強化対策)

担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地中間管理機構との連携等により、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等を推進します。また、水利用の高度化や水管理の省力化を図るため、パイプライン化やICTの導入等により、新たな農業水利システムの構築を推進します。

2. 農業水利施設の戦略的な保全管理、防災・減災対策
(国土強靱化対策)

農業水利施設の更新・長寿命化・耐震化、農地の湛水防止対策、ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化等を推進します。

3. 農村整備（田園回帰・農村定住促進）

農村に人が安心して住み続けられる条件を整備するため、集落排水施設や農道等の整備を推進します。

<事業の流れ>

国

1/2等

都道府県

1/2等

都道府県

市町村等

<事業イメージ>

農業競争力強化対策

農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備

●農地整備を通じた農地集積・集約化の例

現況

計画

●大区画化の例

●汎用化の例

●新たな農業水利システム（イメージ）

国土強靱化対策

農業水利施設の戦略的な保全管理

●基幹的農業水利施設の標準耐用年数の超過状況

●農業水利施設補修による長寿命化対策

農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策

●施設の耐震化

●ため池の整備

※ 事業の一部は、直轄で実施（国費率2/3等）